

<b>交渉情報</b>	<b>NO.29</b>	日本郵便信越支社 郵便・物流オペレーション部
JP労組信越地方本部	2017年10月17日	添付資料:10枚

## 2017年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理について

日本郵便信越支社郵便・物流オペレーション部は、本日（10月17日）「2017年度年賀差立集中処理及び2パス集中処理」について地方本部に説明してきました。

標記趣旨は、（1）年賀郵便物の差立集中処理及び2パス集中処理を行う。（2）区分機配備局において年賀郵便物の円滑な業務運行を確保するため、深夜勤務を実施するものです。

差立集中処理計画及び2パス集中処理計画は「別紙1」、また年賀配達結束基準は「別紙2」を参照して下さい。

「別紙3」には地域区分局の12月25日～12月31日までの年賀結束予定便、「別紙4」には地域区分局、年賀2パス集中処理一般局、被集中局における年賀郵便物の結束の流れが記されております。

深夜勤務実施局は、新潟局が開局し集中処理を行うため、前年度14局から9局に減少しました。

期間については平成29年12月25日（月）～平成30年1月3日（水）までの9勤務10日間とし、勤務パターンは「別紙6」を参考に各局で決定します。

また、到着から差立まで6時間以内で区分機処理を完了できるよう、専用のフラグ等（別紙5）を活用し、処理の進捗管理を図るとしてあります。

なお、要員配置は区分機1台につき、深夜に正社員1名と期間雇用社員2名の配置、必要に応じビデオコーディング打鍵要員の増配置、深夜勤務実施に伴う後補充は期間雇用社員で対応するとしてあります。

また、サービス表改正は必要に応じ、ルールに基づき意思疎通の上、作成することとなります。

【労使対応】深夜勤務実施の9局は単局窓口、他局は地本への情報提供